

【生薬名】麻子仁 *CANNABIS SEMEN*

【起源植物】アサ *Cannabis sativa*



【科名】クワ科Moraceae

【別名】火麻仁、麻仁、麻黄一名麻勃(神農本草経)

【薬用部分】果実

【主成分】脂肪油、精油、蛋白質

【薬性】気味は甘平、帰経は脾胃大腸に属す

【効能】●潤腸通便

- 習慣性便秘(腸燥便秘、気虚便秘いずれにも用いる)に使用する。
- 含有する脂肪油が腸壁と糞便を潤滑にし、大便を軟らかくすることで排便を容易にする。作用は穏やかで腹痛などの副作用はなく瀉下の後も便意を来さない
- 体力の衰えた老人や子供、妊婦の便秘に1日5~10gを煎服
- タンの切れにくい咳に1日5~10gを煎服
- 麻子仁は砕いて煎じないと効果が望めない
- 薬効は胡麻とにているが胡麻は養血・益腎の効があり、麻子仁は潤燥滑腸の作用が強い、胃熱・津枯で腸燥便秘には麻子仁を用いる。腎虧・血枯で腸燥便秘の時には胡麻を用いる
- 七味唐辛子に配合されている

【出典】●治七傷。利五藏。下血寒氣。多食令人見鬼狂走。久服通神明輕身。麻子。補中益氣。久服肥健不老。(神農本草経上品)

- 子仁 味甘、乳を下し、生を催し、腸を潤し、結を通し小水能く行らす。(薬性歌)

【備考】●植物の葉(画像⑤)は大麻、覚醒剤取締法の薬物で種子は発芽しないように処置されている

【処方例】●麻子仁丸、潤腸湯、炙甘草湯